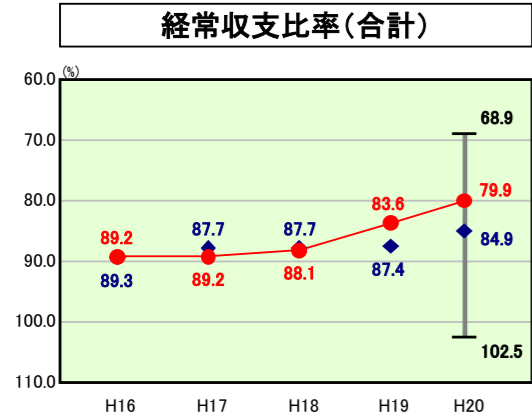


歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

岩手県 川井村

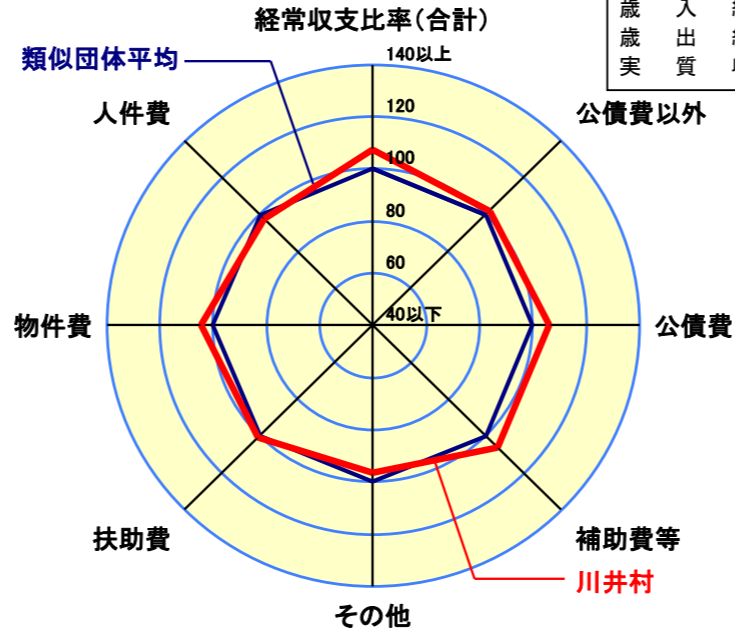
経常収支比率の分析



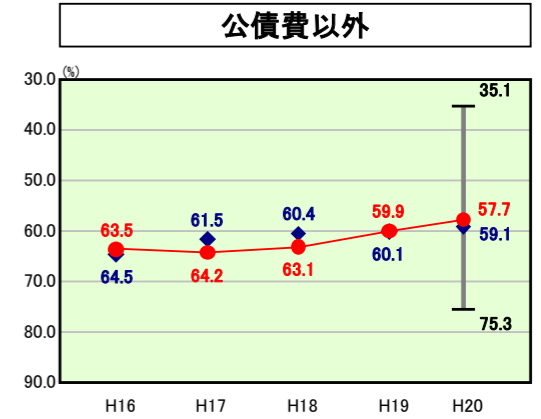
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
┆ 類似団体内の最大値及び最小値

H20類似団体内順位 26/129
全国市町村平均 91.8
岩手県市町村平均 89.8

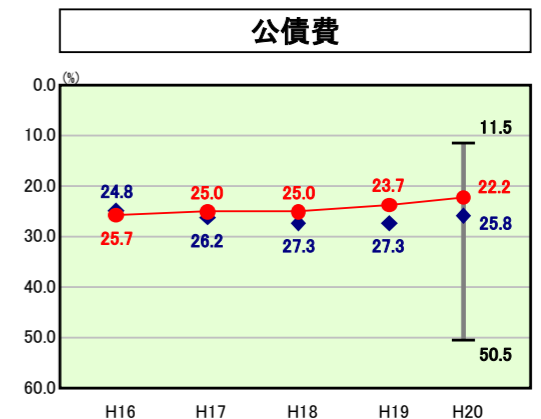
人口	3,255人(H21.3.31現在)
面積	563.07 km ²
標準財政規模	2,389,151千円
歳入総額	3,761,840千円
歳出総額	3,471,754千円
実質収支	72,561千円



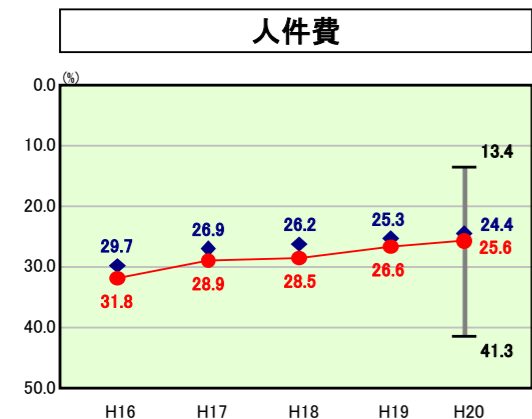
- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



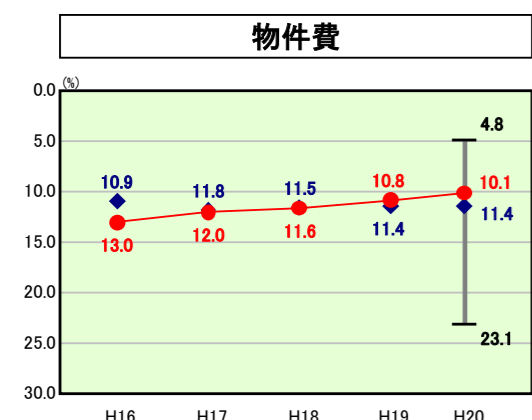
H20類似団体内順位 50/129
全国市町村平均 71.7
岩手県市町村平均 66.5



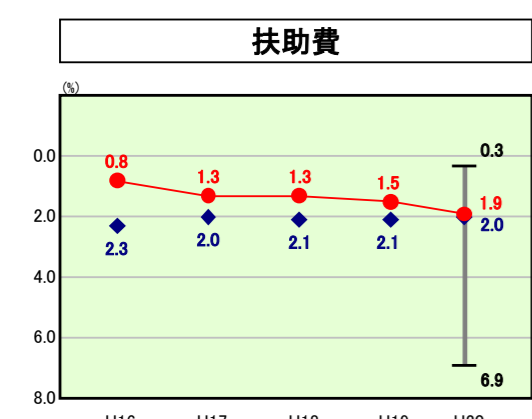
H20類似団体内順位 35/129
全国市町村平均 20.1
岩手県市町村平均 23.3



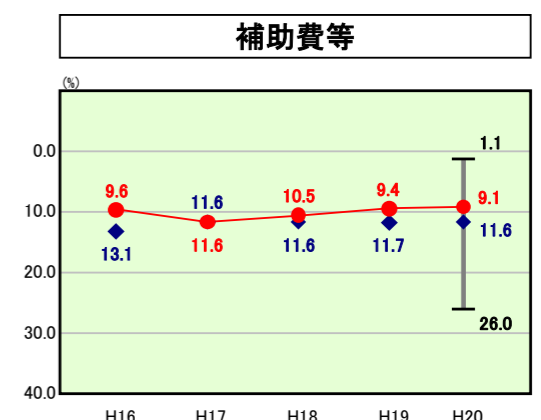
H20類似団体内順位 71/129
全国市町村平均 27.2
岩手県市町村平均 25.7



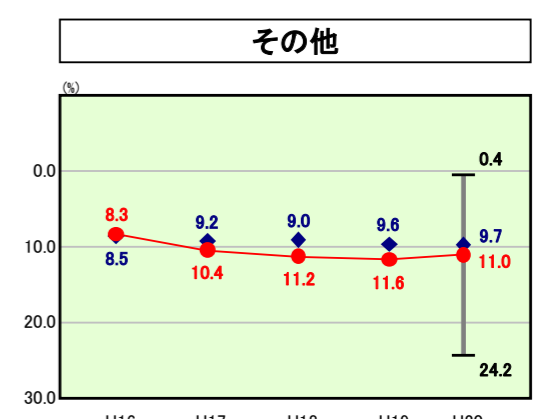
H20類似団体内順位 43/129
全国市町村平均 13.1
岩手県市町村平均 11.6



H20類似団体内順位 76/129
全国市町村平均 9.1
岩手県市町村平均 6.7



H20類似団体内順位 39/129
全国市町村平均 10.6
岩手県市町村平均 12.0



H20類似団体内順位 87/129
全国市町村平均 11.7
岩手県市町村平均 10.5

分析欄

経常収支比率:
平成16・17年度の89.2%をピークに平成20年度は79.9%と9.3ポイント改善しており、今後においても、人件費、公債費等の削減を更に進め、弾力性のある財政運営を図っていく。

人件費:
平成16年度は7人の退職者により退職手当組合負担金が大幅に増加し31.8%となったが、以降、退職者不補充による職員数の削減や時間外手当(30%~50%削減)、管理職手当(50%削減)などの削減措置により年々低下してきており、改善の傾向は見られるものの、未だ類似団体平均を上回っている状況にあることから、更なる経費の削減を図っていく。

物件費:
平成14年度をピークに、需用費・役務費の10%削減、村民バスの1路線廃止、旅費の日当廃止などの実施により経常経費の削減を図ってきたことから減少傾向が続いてきている。その結果、平成20年度は類似団体平均を1.3ポイント下回る実績となったが、今後においても更なる経費の節減に努める。

扶助費:
障害者自立支援費、児童手当などが増加傾向にはあるものの、児童手当については、児童数の減少で徐々に減る傾向にあり、今後も現在の水準で推移するものと見込まれる。

公債費:
平成16年度から地方債の発行額を償還元金の70%以内に抑制していることから減少傾向にあり、地方債の発行に関しても平成20年度の継続事業(平成21年度まで)が終了見込であり、平成22年度以降の新規発行を原則廃止とすることで公債費の縮減を図る。

補助費等:
平成17年度は特定財源の減少により上昇したが、補助金の廃止や10%削減の実施により平成20年度対比においては2.5ポイント減少している。今後においても更なる見直し等を進め経費の削減を図る。

その他:
維持補修費は例年1.0%前後となっており、今後も同水準で推移するものと見込まれる。
繰出金については介護保険事業勘定への繰出金は増加傾向にあるものの、簡易水道事業への繰出金は公債費の減少に伴う繰出基準額の減少により、年々減少している傾向にある。しかしながら、類似団体平均値を上回っていることから、普通会計同様に地方債の新規発行の抑制を図り、繰出金全般の縮減を図る。